

海外安全対策情報（ドバイ及び北部首長国：在ドバイ総：2015年第4四半期（10月～12月）分）

1 治安情勢及び一般犯罪の傾向

(1) 一般犯罪

ドバイ警察犯罪捜査局副局長は、2015年中の重要犯罪の発生が2014年中と比べて1.2%減少したことを発表した（2月1日報道）。性犯罪、ネット利用犯罪（詐欺等）が多く報じられたのが目立った。

(2) テロ

特記事項なし。

(3) デモ・騒擾等

特記事項なし。

(4) 外交団に対する犯罪

特記事項なし。

(5) 日本人に対する犯罪

11月28日夜、バル・ドバイ地区からタクシーに乗車した女性が、パキスタン人のタクシー運転手から身体を触られるなどの性的暴行を受けた（1月25日報道・公判中）。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 殺人（未遂）

○ ラアス・ル・ハイマ首長国（10月2日発生）

アジア人の男（33歳）が、アジア人の女性（25歳）を個人的な怨恨により殺害しようとしてナイフで刺したが、殺害に至らなかった。

○ シャルジャ首長国（10月22日発生）

アル・ナフダ地区で、オマーン人の夫（35歳）が深夜に自宅に帰宅したところ、モロッコ人の妻（25歳）が酒に酔った状態でいたことに激怒し、同妻を殴打。同妻は、2日後に高熱と悪寒に苛まれた末に死亡した。

○ シャルジャ首長国（11月14日発生）

カシミア地区に所在の事務所内で、17歳の精神病を患っている少年が、50歳の父親の頭を消化器で殴って死亡させた。同少年は、「霊鬼と悪魔の命令によって殺した」と供述した。

(2) 強姦

○ ドバイ首長国（10月14日発生）

バングラデシュ人の男（24歳）が、知人のインド人女性（17歳）を誘い出し、車に乗せてアル・ムヘイスナ地区の砂漠に連れて行き、仲間2人と強姦した。

○ ドバイ首長国（12月15日発生）

アラブ人の男3名が、アル・リガ地区で、イラン人の女性3名に「飲みに行こう」と誘い、車に乗せて砂漠に連れて行き、強姦した。

(3) 略取・誘拐

○ フジャイラ首長国（11月26日発生）

カルバ地区で、31歳と28歳のGCC国籍人が、タクシーに乗車していたアジア人の女性を引きずり出して、彼らの車両に監禁して逃走。タクシー運転手の通報により追跡した警察官が同車両を捕獲、2人は逮捕された。

(4) 強盗

○ ドバイ首長国（10月初旬発生）

アル・クサイス地区で午後 1 時ころ、3 人組のアジア人の男が、銀行から出てきたアジア人の男性を殴り、ナイフで刺した上、現金 15 万ディルハムを奪って逃走した。

○ ドバイ首長国 (12 月 13 日発生)

カラマ地区の両替店で、覆面姿の 5 人組 (東欧人とされる) が、レーザー銃や催涙銃で店員や客を攻撃し、現金 70 万ディルハムを強奪して車両にて逃走した。

(5) 集団闘争

○ シャルジャ首長国 (11 月 13 日報道)

ホール・ファッカンのインダストリアル地区で、グループ同士 (計 18 人・全て UAE 人) のマシンガンやナイフ、剣などを用いた闘争があり、5 人が負傷し、1 人が重傷を負った。

3 日本企業の安全に関する諸問題

特記事項なし。